

## 母の呪い

- 1 馬小屋の戸口でウイリーが  
馬をあやしながら  
白い指を眺めたら  
鼻血が流れだしました
- 2 「馬に小麦をやつてください お母さん  
小姓に肉をやつてください  
ぼくはマギーの家へ行きます  
マギーがまだやすまぬうちに」
- 3 「おお 今夜はわたしといておくれ  
今夜はわたしといておくれ  
鶏小屋で一番のおんどりを  
夕食に出してあげましょう」
- 4 「どんなに立派なおんどりも  
ちつとも欲しくはありません  
ぼくはマギーの家へ行きます  
マギーがまだやすまぬうちに」
- 5 「おお 今夜はわたしといておくれ ウイリー  
今夜はわたしといておくれ  
家畜で一番の羊を  
夕食に出してあげましょう」
- 6 「どんなに立派な羊も  
ちつとも欲しくはありません  
ぼくはマギーの家へ行きます  
マギーがまだやすまぬうちに」
- 7 「おお わたしの願いをつれなく蹴つて  
あの娘の家へ行くのなら  
クライド川の川底で  
わたしの呪いを受けるでしょう」
- 8 「ぼくが乗つて行くあの馬には  
九十ポンドを支払つた

あのすばやい足は頼れます  
きっと川を渡れるでしょう」

9  
高い高い丘を越え

暗い谷をおりてゆく

クライド川の川音に

多くの人がおじげづく

10  
「おお吠えたけるクライド川 おまえは大声で吠えている  
おまえの流れはとてもきつい  
殺<sup>や</sup>るなら帰りに殺<sup>や</sup>つておくれ  
けれども往<sup>ゆ</sup>きは通しておくれ」

11  
かくしてマギーの家についたとき

ウイリーはノッカーをたたきました  
「眠つているかい おきているかい マギー  
開けて中へ入れておくれ」

12  
「戸口でわたしの名前を呼ぶのは

誰かしら」

「おまえの初恋の人 ウイリーだ  
今夜こうしてやつて來た」

13  
「家の外にも 家の中にも  
恋人なんかいないはず

わたしの一番の恋人は

昨日おそらくにここへ来ました」

14  
「一番そまつな馬小屋でいいから貸しておくれ

一番そまつな部屋でいいから貸しておくれ  
ぼくがそこでやすむため

ぼくの長靴<sup>くつ</sup>はクライド川の水でびしょ濡れだ  
顎<sup>あ</sup>がぶるぶる震えている」

15  
「納屋は小麦でいっぱいよ

馬小屋は乾草<sup>くさ</sup>でいっぱいよ

部屋は尊とうといお方でいっぱいよ  
みなさん朝まで帰りません」

「さようなら つれないマギー  
さようなら お別れだ  
母さんの呪いを忘れていた  
今夜ここへ来るときに」

16  
高い高い丘を越え

暗い谷間をおりて行く  
クライド川の激流に  
ウイリーの鞭むちが流されました

17  
高い高い丘を越え

鞍くらのまえに身をかがめ  
鞭むちをとろうと必死です  
クライド川の激流に  
ウイリーの帽子が流されました

18  
鞍のまえに身をかがめ

帽子をとろうと必死です  
クライド川の激流に  
ウイリーは馬から流されました

19  
鞍のまえに身をかがめ

20  
堤の上から ウイリーの兄がいました  
「おい おだぶつするつもりかい  
馬の頭にしがみつき  
なんとか泳いで渡るのだ」

21  
「どうすりや馬にしがみつき

どうすりや泳いで渡れよう  
ぼくは母さんに呪われた  
ここでおだぶつせにやならぬ」

22  
ウイリーが川底深く

沈んだときには  
恋人マギーは眼をあけて  
深い眠りからさめました

23

「こちらへ来てよ こちらへ来てよ お母さん  
こわい夢を占つてよ  
夢の中でウイリーが戸口へきたんだけれど  
誰も入れてやらなかつたの」

「静かに静かにおやすみなさい  
静かにやすんでおいでなさい  
おまえのいとしい恋人が  
戸口へきたのは半時まえ」

24

「静かに静かにおやすみなさい  
静かにやすんでおいでなさい  
おまえのいとしい恋人が  
戸口へきたのは半時まえ」

さつとマギーは跳び起きて

さつと着物をつけました  
マギーが大声で呼べば呼ぶほどに  
風が大声で吹きました

25

一步足を踏み入れたとき

水は踵<sup>きびす</sup>の深さです

「おお これはなんとまあ  
なんと深い川だこと」

26

またもう一步踏み入れたとき

水は膝<sup>ひざ</sup>の深さです

「もつと先まで行きましょう  
あの人に会えるのならば」

27

またもう一步踏み入れたとき

水は頬<sup>ほ</sup>の深さです

クライド川の底深く  
いとしいウイリーに会いました

28

「あなたのお母さんはひどい人  
わたしのお母さんもひどい人  
クライド川の底深く  
兄妹のように眠りましょう」

29